

平成24年度（平成23年度対象）

新居浜市教育委員会

点検・評価報告書

平成24年11月

新居浜市教育委員会

目 次

はじめに	1
第1章 点検・評価結果	
平成23年度 教育基本方針	5
平成24年度教育委員会点検・評価対象選定事業一覧表	6
事務事業等の自己点検評価票（9事業/平成23年度事業）	7
学識経験者の意見及び評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性	21
参考資料	
平成23年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（80事業）	31
第2章 教育委員会活動報告	
平成23年度の教育委員会の活動状況	47
参考資料	
組織図・職員数	51
地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋	52

はじめに

1 趣旨

当教育委員会では、毎年度定めた教育基本方針に基づき市長事務部局、関係機関等と十分な協議を重ね、具体的な施策及び事業を定め、取り組んでおります。

これまでも教育委員会の取組は、「新居浜市の教育」の発行、ホームページ等により市民の皆様には積極的に情報公開をしておりましたが、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）され、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

そこで、当教育委員会でも、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため点検・評価を行い、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、平成23年度に実施した施策・事業のうち、各課及び各教育機関における主な施策・事業（80事業）とし、そのうち新たに取り組んだ事業、前年度から取組を改善した事業等を中心に選定した9事業について、教育に関し学識経験を有する方から御意見、御助言を頂いております。

また、平成23年度に開催した教育委員会の会議その他活動実績を記載しました。

3 点検・評価の方法

(1) 選定した9事業の点検・評価に当たっては、3ページの「事務事業等の自己点検評価票」に基づき、成果、結果、執行状況等を明らかにするとともに、問題点を分析し、今後の方向性を示します。

なお、自己評価は、施策・事業ごとに成果指標の達成度をA～Eの5段階で行いました。

自己評価基準

段 階	内 容
A	目標を大きく上回る成果が上がった
B	目標を上回る成果が上がった
C	目標どおりの成果が上がった
D	目標を下回る成果に留まった
E	目標を大きく下回る成果に留まった

(2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方から御意見、御助言等を頂きま

した。

御意見を頂いた方々は、次のとおりです。

(敬称略 五十音順)

役 職 名	氏 名
元新居浜市PTA連合会会長	今 井 基 博
元新居浜市教育委員会委員長	小 野 トヨミ
ボランティアグループ 新居浜市 おもちゃ図書館 きしゃポッポ代表	松 山 明 子

4 点検・評価結果の構成

(1) 平成23年度教育基本方針を記載しています。

(2) 平成23年度実施事業の中から新たに取り組んだ事業、前年度から取組を改善した事業等を中心に選定した9事業について「事務事業等の自己点検評価票」を作成し、教育に関し学識経験を有する方から御意見、御助言を頂き記載しています。

また、教育委員会の事務事業全般に関する御意見等も記載しています。

(3) 自己評価、学識経験を有する方からの御意見等を参考に、評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性を記載しています。

(4) 参考資料として、各課所において実施した平成23年度事業の概要、内容、自己評価等を記載しています。

(5) 平成23年度に開催した教育委員会の会議その他活動実績を記載しました。

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：

事務事業名			
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
			経常・施策・公共・単独
事業の概要			
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等			
自己評価			
前年度からの改善状況等			
今後の方向性			

第1章

点検・評価結果

平成23年度 教育基本方針

すべての市民が、健康で心豊かな人間性を自ら養い、個性を發揮できる教育の充実に努める。

- 1 誰もが学べる環境を整備し、生涯にわたる学習機会を提供する。
- 2 学びの成果を活かし、よりよい地域づくりを推進する。
- 3 家庭・学校・地域の連携の下、子どもたちの健全な育成を支える。
- 4 基本的な生活習慣や社会規範を身につける温かい家庭教育を進める。
- 5 開かれた特色ある学校づくりを推進し、「生きる力」を育む。
- 6 国際化、情報化、環境、防災、食育等現代的課題に対応する教育を進める。
- 7 子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- 8 お互いを尊重し認め合う人権・同和教育を推進する。
- 9 自然を守り育て、郷土を学び愛する教育を進める。
- 10 伝統文化を保存・継承するとともに、芸術文化の香るまちづくりを推進する。
- 11 スポーツの振興を図り、市民の健康増進、体力向上に努める。

2 平成24年度教育委員会点検・評価 対象選定事業（平成23年度事業）

担当課所	番号	事務事業名	自己評価	成果指標
社会教育課	1	放課後子ども教室推進事業	B	放課後子ども教室参加児童数
	2	新しい公民館創造プロジェクト事業	B	プロジェクト事業参加者数
学校教育課	3	中学生海外派遣研修事業	C	異文化理解や国際感覚を深めることができた生徒数
	4	小学校耐震補強対策事業	C	小学校施設の耐震化率
スポーツ文化課	5	国民体育大会振興費	B	スポーツ教室等参加者数
	6	芸術文化振興費	A	芸術文化企画事業入場者数
発達支援課	7	発達支援教育充実費	C	早期相談・指導施設利用者数
学校給食課	8	給食運営改善事業	D	給食施設・設備更新修繕数
図書館	9	図書館利用促進事業	B	図書館入館者数

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：社会教育課

事務事業名		放課後子ども教室推進事業							
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分						
2,400	2,400	0	経常(施策)・公共・単独						
事業の概要	<p>地域社会の中で放課後に子どもたちが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を目指す。 (委託事業)</p>								
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<p>市内6公民館(金子(地域交流センター)、金栄、高津、多喜浜、泉川、大生院)、総合福祉センター及び教育会館で放課後子ども教室を開催し、伝統文化継承活動、野外活動、地域住民との交流活動等に取り組んだ。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">平成23年度延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">6,787人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">平成22年度延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">5,834人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">平成21年度延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">6,230人</td> </tr> </table>			平成23年度延べ参加者数	6,787人	平成22年度延べ参加者数	5,834人	平成21年度延べ参加者数	6,230人
平成23年度延べ参加者数	6,787人								
平成22年度延べ参加者数	5,834人								
平成21年度延べ参加者数	6,230人								
自己評価	B	目標を上回る成果が上がった							
前年度からの改善状況等	<p>平成22年度は7教室であったが、平成23年度には8教室に増設され、参加者数も増加傾向にある。放課後児童クラブと合同で行う行事も増え、更なる地域住民の方との交流を図ることができた。</p>								
今後の方向性	<p>放課後の子どもの居場所を確保するとともに、学校では体験できない様々な活動を行うことで、子どもたちに自立心が芽生える。また、地域住民との交流も深まり、より良い地域づくりができるよう今後も継続する。</p>								

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：社会教育課

事務事業名		新しい公民館創造プロジェクト事業	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
12,600	12,132	468	経常(施策)・公共・単独
事業の概要		<p>従来の公民館事業は、社会教育関係団体を対象とした学級講座、地域づくりを推進するイベント等を主たる対象としていた。地域主導型公民館への移行に併せ、従来の公民館事業を再検討し、新しいスタイルの公民館事業を創造するとともに、より多くの住民が公民館活動に参加し、住民主体で企画運営できる公民館を目指す。(委託事業)</p>	
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等		<p>地域の課題解決につながる新しい事業の開設及び住民のニーズにあった事業を展開しながら、新しい組織及び体制づくりの推進が図れた。</p> <p>平成23年度延べ参加者数 56,565人</p> <p>事業の詳細については次ページのとおり</p>	
自己評価		B	目標を上回る成果が上がった
前年度からの改善状況等		平成23年度からの新規事業	
今後の方向性		<p>地域主導型公民館への移行が完了し、新しいスタイルの公民館事業を創造するとともに、より多くの住民が公民館活動に参加し、住民主体で企画運営できるよう、今後もこの事業を継続する。</p>	

新しい公民館創造プロジェクト事業（特色ある事業）

1 新居浜公民館

- (1) 小学生通学合宿 3泊4日の日程で4年生から6年生の児童を対象に実施。（延べ167人参加）
公民館で共同生活をしながら通学することで自立し、お互いの立場を理解し、助け合う心を育むことを目的とする。地域住民の方、公民館利用団体の方との交流が深まり、「地域の子どもは地域で育む」機運も高まった。
- (2) 新居浜校区三世代ウォークラリー 地元企業とタイアップしたウォークラリーを開催した。住友化学歴史資料館、愛媛工場内菊本地区等を見学し、地元企業との意見交換も行った。

2 口屋跡記念公民館

- (1) 三世代交流福祉もちつき大会 核家族で育った子どもたちが地域行事に参加することで三世代が触れ合う貴重な体験になっている。また、赤飯に子どもたちが書いた手紙を添え、独居高齢者宅を訪問している。
- (2) 北中校区こども絵画展 夏休みに題材自由で描いてもらった作品を公民館に展示して、その後審査、表彰式及び指導の時間を設けた。

3 地域交流センター

乳幼児講座 子育ての悩みを一人で抱える母親が楽しみながら子育てができるよう学習の場、情報交換の場等として開設している。

4 金栄公民館

金栄見守り安全ボランティアの会・地域防犯パトロール（安心まちづくり講座） 児童の登下校時に見守り活動を実施。また、2か月に1回、校区内を班ごとに分かれてパトロールを実施し、危険箇所、街灯等の点検を行っている。

5 高津公民館

健康ウォーキング 健康づくりを目的に「ギャラリーしろかわと大洲城・大洲の街並みウォーキング」を実施した。

6 浮島公民館

あいさつ励行運動 「明るく元気が出る標語看板」を作成し、小学生の作った標語を掲示している。標語をきっかけに、あいさつを交わし合い、明るい街づくりに寄与している。

7 惣開公民館

- (1) 地域の資源を活かしたまちづくり事業 惣開校区内に多く残る別子銅山関連の近代化産業遺産を活かし「そうびらき未来への鉱脈」探検マップを作成し、子ども地域探検やウォークラリーを実施した。

(2) 卒業記念もちつき大会 小学校6年生の卒業を記念して三世代で餅つき大会を実施している。また、赤飯に子どもたちが書いた手紙を添え独居高齢者宅を訪問している。

8 若宮公民館

環境にやさしいまちづくり エネルギーに対する関心が高まっているため「エネルギーと環境問題について」と題する講座を開催した。(3回)また、本川・西条発電所を見学した。

9 垣生公民館

(1) 垣生山遊歩道整備事業 遊歩道整備を年2回実施している。展望台にはチューリップや水仙を植え憩いの場となっている。

(2) イルミネーションファンタジー 公民館及び垣生山を年末年始の期間、イルミネーションで装飾している。点灯式では、カウントダウンイベント、餅つき大会等を行っている。

10 神郷公民館

乳幼児期家庭づくり教室 幼児を持つ保護者同士の情報交換及び交流の場を提供している。子育て支援を目的とする講座、伝統行事「七草粥」などを実施している。

11 多喜浜公民館

塩田文化バンク 多喜浜塩田を後世に継承していくため、「ソルティ多喜浜」を活用した塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐり等に取り組んだ。

12 大島公民館

(1) 異年齢体験交流サマーキャンプ(1泊2日) 小中学生、大学生及び社会人が集い、自立心を醸成させ、青少年の健全育成を目指す。

(2) とうど祭り(念仏踊り) 伝統文化を保存し、継承することで地域住民が親睦を深めるとともに、島外の人達との交流を図る。

13 泉川公民館

(1) 子どもまつり 「みんなであつなごう ハッピーサンデイ」をスローガンに小中学生の有志が実行委員会を立ち上げ、企画・運営した。各種体験教室、催物コーナー等を設け、子どもから高齢者まで参加することで、地域の大人とのコミュニケーションの場にもなった。また、次年度に向けアンケートも実施した。

(2) 公民館まつり 従来の校区文化祭を検証し、住民参加の「公民館まつり」を開催した。公民館利用サークル・団体の発表会、お手玉、けん玉等参加体験型のコーナーを設け、イベントを盛り上げた。

14 中萩公民館

(1) 萩っ子生き生き活動 地域の大人とのコミュニケーションを図り、子どもたちの健全育成を図る。

本年度は、ペットボトルのキャップを使った交通安全標語看板を作成し、公民館前に掲示した。

- (2) チャレンジ事業 地域では環境問題（特に水質浄化）に関心が高く、環境浄化微生物えひめA I - 2を造り、各家庭での使用を推奨している。また、河川へのホタルの放流を行った。

15 船木公民館

- (1) 池田池をわたる風とマンドリン13 新居浜マンドリンクラブの協力を得て開催している。また、船木小学校金管バンド部、船木中学校音楽部、船木和太鼓クラブ、大正琴琴衛会の演奏、フラダンスなど地域住民の方が参加することでイベントを盛り上げている。

- (2) かぶとっ子見守り隊 約90人のかぶとっ子見守り隊が児童の登下校を見守っている。

16 大生院公民館

大野山プロジェクト 歩いてゆく大野山ツアーを実施した。名木探訪コース、銚子の滝コースなど大野山の自然を堪能し、環境を考えるコースを設定している。

17 角野公民館

- (1) 家庭教育セミナー 「身近な産業遺産や史跡を訪ねて、歴史を肌で感じよう！」をテーマに、以前に住んでいた方、郷土史に詳しい方等の話を伺いながら史跡を探訪した。校区に残る、身近で貴重な産業遺産や史跡を後世に語り伝えることを目指す。（別子銅山峰を訪ねて、住友鉄道跡を訪ねて）

- (2) 未来まちづくりプラン 節電効果のある「ゴーヤカーテンづくり」教室、パンジーの育て方講座、土づくり講座等を開催し、環境に配慮したまちづくりを目指す。（環境緑化推進・園芸教室）

18 別子山公民館

- (1) ふれあい体験学習 別子小中学校と共催で魚つかみ大会を実施した。

- (2) いきいきまちづくり 別子山産のそば粉を使ったそば打ち教室、桜の木から採った灰汁で作る手作りこんにゃく教室等地元の食材を活かした料理教室を開催し、昔ながらの郷土料理の伝承を行う。

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：学校教育課

事務事業名		中学生海外派遣研修事業	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
6,194	6,078	116	経常・ <u>施策</u> ・公共・単独
事業の概要	<p>平成19年度から「フランクリン=新居浜 生徒交流プログラム」の実施協定に基づき、本市の中学生とフランクリン高校生等との相互交流を実施している。ホームステイ、学校訪問、社会見学等を通じて他国の人々との交流と異文化理解を図ることで国際理解を深め、豊かな国際感覚と日本人としての自覚等を身に付け、国際社会に貢献できる人材育成と友好親善の絆を図る。</p>		
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣先：アメリカ合衆国ウィスコンシン州フランクリン市 (フランクリン高校、フォレストパーク中学校等) ・派遣期間：10月29日～11月8日(9泊11日) ・訪問団：中学生19人及び教育長(団長)・引率指導者2人 ・総事業費：6,078千円(うち個人負担金@45千円×19人) <p>文化、経済、生活習慣、国民性等の違いを肌で感じ、国際理解や異文化理解の認識を深め、人材育成と友好親善が図れた。また、帰国後の報告会や各校でその成果等を広く周知した。</p>		
自己評価	C	目標どおりの成果が上がった	
前年度からの改善状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・「フランクリン=新居浜 生徒交流プログラム」の実施協定を更に5年間延長する等の新たな協定書を締結した。 ・事前研修において、外国語指導助手(ALT)との英会話の実践的な研修を実施した。 		
今後の方向性	<p>社会経済の変化やグローバル化が進展する中で、異なる文化との共存や国際協力、コミュニケーション能力の必要性が次代を担う子どもたちに求められることから、英語圏との国際交流を引き続き実施する。</p>		

アメリカ訪問団日程表

日付	曜	時刻	項目	内 容	備 考
10月29日	土	11:00	新居浜市役所集合	荷物積み込み 出発式(市役所ロビー)	団員、保護者、市関係者ほか
		11:30	出発	貸切バスで移動	
		13:00	松山空港着	空港ロビーへ移動	
		14:05	松山空港発	ANA 592便	
		15:30	羽田空港着		
		16:20	羽田空港発	貸切バスで移動	
		17:45	ホテル着		ホテルで夕食
10月30日	日	8:00	ホテル発	シャトルバスで移動	
		8:40	成田空港着		
		10:45	成田空港発	ANA 012便	
10月30日	日	8:15	シカゴ・オヘア空港着	アメリカ時間 時差-15時間。ただしサマータイム(~11月6日)時は-14時間	
		14:15	シカゴ社会見学 フランクリン高校着	貸切バスで移動 ホストファミリーと対面後、ホームステイ先へ	昼食(各自)
10月31日	月	登校日	1年生：フォレストパーク中学校にてパートナーとともに授業参加 8:00~15:00 3年生：フランクリン高校にてパートナーとともに授業参加 7:20~14:34		
11月 1日	火	登校日 社会見学	学校を出発(中学校は8:15、高校は8:40に出発) ミルウォーキーにて見学(ミルウォーキー博物館、ミラーパーク等、昼食含む)		
11月 2日	水	登校日 社会見学	学校を出発(7:30~) マディソン(州都)にて社会見学(州議事堂、ウィスコンシン大学)		
11月 3日	木	登校日	1年生：フォレストパーク中学校にてパートナーとともに授業参加 8:00~ 3年生：フランクリン高校にてパートナーとともに授業参加 7:20~ 午 後：小学校訪問(プレゼント・ビュー小学校) 12:30~		
11月 4日	金	登校日	1年生：フォレストパーク中学校にてパートナーとともに授業に参加する。 8:00から15:00 3年生：フランクリン高校にてパートナーとともに授業に参加する。7:20~14:34		
11月 5日	土	休 日	ホストファミリーと過ごす。		
11月 6日	日	12:00	お 別 れ 会 於:ストーンファイアービザ	新居浜市主催お別れ会	ホストファミリー、関係者ほか参加
11月 7日	月	6:45	フランクリン高校発	貸切バスで移動	
		9:00	シカゴ・オヘア空港着		
		10:45	シカゴ・オヘア空港発	ANA 011便	機内で食事
11月 8日	火	15:00	成田空港着		
		16:30	成田空港発	貸切バスで移動	
		17:30	羽田空港着		
		19:15	羽田空港発	ANA599便	機内で夕食予定
		20:55	松山空港着		
		21:30	松山空港発	貸切バスで移動	
		23:00	新居浜市役所着	帰着式(市役所ロビー)	※23:15解散

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：学校教育課

事務事業名		小学校耐震補強対策事業	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
674,031	99,738	49,483	経常・施策 <u>公共</u> 単独
事業の概要		耐震補強の必要な市内小学校17校の校舎・体育館55棟について、平成18年度から平成24年度までの7か年計画で耐震補強工事を実施し、安心・安全な施設とする。	
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等		<p>平成23年度は、校舎1棟（1校）の耐震補強工事を実施した。また、平成24年度に耐震補強工事を予定している校舎8棟（3校）の設計を実施した。</p> <p>耐震補強工事実施校 多喜浜小学校（1棟）</p> <p>設計委託実施校 宮西小学校、浮島小学校、角野小学校</p> <p>※524,810千円を翌年度に繰り越した。</p>	
自己評価		C	目標どおりの成果が上がった
前年度からの改善状況等		従来から教育環境に配慮した施工に努めている。	
今後の方向性		平成24年度までの耐震補強工事の完了を目指し、計画に沿って継続実施する。	

耐震化率(新居浜市立小中学校施設の耐震改修状況)

H24.3.31現在

学校数	全棟数	新耐震基準	旧耐震基準	改修済	耐震化率
29	114	42	72	63	92.1%

耐震補強対策事業実施内容

実施年度	学校名	建物区分	備 考
平成18年度	宮西小学校	体育館	
	高津小学校	体育館	
	浮島小学校	体育館	
	惣開小学校	体育館	
	若宮小学校	体育館	
	泉川小学校	体育館	
	角野小学校	体育館	
	中萩小学校	体育館	
平成19年度	金子小学校	校舎	
	泉川小学校	校舎	
	船木小学校	校舎	
	金子小学校	体育館	
	大生院小学校	体育館	
	中萩中学校	校舎	
	西中学校	体育館	
	川東中学校	体育館	
平成20年度	金栄小学校	校舎	
	高津小学校	校舎	南棟・管理棟
	垣生小学校	校舎	
	中萩小学校	校舎	中棟・北棟
	東中学校	校舎	
平成21年度	惣開小学校	校舎	北棟
	神郷小学校	校舎	西棟
	大生院小学校	校舎	
	角野小学校	校舎	東棟
	泉川中学校	校舎	
	船木中学校	校舎	
	角野中学校	校舎	南棟
平成22年度	神郷小学校	校舎	北棟
	中萩小学校	校舎	南棟
	角野小学校	校舎	中棟東・中棟中
	川東中学校	校舎	
	別子小・中学校	校舎	
	北中学校	体育館	
平成23年度	多喜浜小学校	校舎	
	北中学校	校舎	
	角野中学校	校舎	北棟
平成24年度 完成予定	宮西小学校	校舎	
	浮島小学校	校舎	
	角野小学校	校舎	中西棟・西棟
	南中学校	校舎	

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：スポーツ文化課

事務事業名		国民体育大会振興費	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
2,000	1,607	393	経常(施策)・公共・単独
事業の概要	平成29年度に開催される愛媛国民体育大会において、本市ではウエイトリフティング、セーリング、軟式野球及び少年サッカーが実施される。市民への国体の周知を図るとともに多くの本市選手が大会に出場できるよう支援を行う。		
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<p>平成23年度は、セーリング及び軟式野球競技が本市で開催されることの周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーリング講演会 日時 平成23年8月20日(土) 場所 新居浜市ウイメンズプラザ 講師 岡山毅、上野太郎 ・セーリング体験会 日時 平成23年8月21日(日) 場所 マリンパーク新居浜 講師 岡山毅、上野太郎、愛媛県セーリング連盟会員 参加者 44人 ・少年野球教室 日時 平成23年11月21日(日) 場所 新居浜市営野球場 講師 愛媛マンダリンパイレーツ選手 参加者 市内中学校野球部 49人 <p>国体強化事業補助金を市体育協会を通じて、種目協会に支出し、指導者の育成・選手強化を図った。</p>		
自己評価	B	目標を上回る成果が上がった	
前年度からの改善状況等	県内のプロチーム(愛媛マンダリンパイレーツ)による少年野球教室やヨット体験教室など平成29年度に選手として活躍する世代への指導を行った。		
今後の方向性	今後も愛媛国体の選手になる世代への指導の強化を図りたい。		

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：スポーツ文化課

事務事業名		芸術文化振興費	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
2,685	2,352	333	経常(施策)・公共・単独
事業の概要	優れた芸術文化を鑑賞する機会の少ない小中学生及び市民の方に質の高い音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、自主的な芸術文化活動に対し支援を行う。		
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校出前コンサート「音楽ってステキ」 内容 曾我部清典氏によるトランペットコンサート 開催校 浮島小学校、多喜浜小学校、船木小学校、泉川中学校 ・芸術文化出前講座 内容 実技指導及びコンサート 開催校 市内小中学校計11校 ・地域住民のためのコンサート（三井住友海上文化財団と共催） 内容 N響トップメンバーによる室内楽名曲コンサート 場所 市民文化センター大ホール 入場者数：1,024人 ・民謡をたずねて（NHK松山放送局と共催） 内容 ラジオ番組公開録音 場所 市民文化センター中ホール 入場者数：439人 ・第7回新居浜市郷土芸能発表会 内容 市内郷土芸能保存団体14団体による発表会 ・市民コンサート「第九」への補助 		
自己評価	A	目標を大きく上回る成果が上がった	
前年度からの改善状況等	他団体と共催することにより一般市民対象の芸術文化の鑑賞機会を設けた。		
今後の方向性	今後も幅広い年代の子どもたち及び市民の方に質の高い芸術文化に触れる機会を提供したい。		

事務事業等の自己点検評価票

担当課所： 発達支援課

事務事業名		発達支援教育充実費	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
19,155	18,522	633	経常・ <u>施策</u> ・公共・単独
事業の概要	障がい、発達課題等のある子どもが地域で自立した生活ができるように、各幼稚園、保育所、小・中学校、療育機関等と連携を強化しながら就学前及び学齢期における早期発見、継続支援及び地域における早期療育体制の整備充実を図る。		
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<p>こども発達支援センターを中心に関係機関との連携のもと早期からの発達支援に関する諸事業を実施した。巡回相談（対象393件）、総合相談（延べ1,504件）、就学相談（対象166件）、講演会（年3回）、スキルアップ連続講座（年2回）</p> <p>日常生活における集団生活への適応訓練等の指導及び療育の実施。ことばの教室（登録88名、延べ通園1,107人）、育ちの教室（登録40人、延べ通園891人）、ソーシャルスキル支援事業（延べ参加者68人）</p>		
自己評価	C	目標どおりの成果が上がった	
前年度からの改善状況等	個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）等を内容とする早期療育通園事業の運営を本格的に開始した。主に発達障がいの児童生徒の社会性や対人関係能力の向上を図るソーシャルスキル支援事業（愛媛大学 荻田研究室との協働）を開始した。		
今後の方向性	臨床心理士等の療育専門員の確保と現場の職員の人材育成等を図りながら地域早期療育システムの充実強化を図る必要がある。		

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：学校給食課

事務事業名		給食運営改善事業	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
18,500	17,835	665	経常・施策・公共・ <u>単独</u>
事業の概要		本市では、児童及び生徒の心身の健全な発達に資することを目的に、昭和23年から学校給食を実施しているが、厨房施設・設備等の老朽化が進んでいる。このため安全でおいしい給食を提供するために、施設・設備等の適正な維持管理、更新及び改善が必要である。	
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等		<p>市内18学校給食調理場（対象児童・生徒数、約10,500人）の厨房関係施設・設備、食器等の修繕及び更新を行った。主要設備等については、年次別に計画を立て実施している。しかし、各調理場からの更新、修繕の要望等の件数が多いため、全ての要望に対応しきれていないのが現状である。</p> <p>消耗品費 2,920千円 施設修繕料 956千円 器具修繕料 2,379千円 備品購入費 11,580千円</p>	
自己評価		D	目標を下回る成果に留まった
前年度からの改善状況等		<p>主な備品の購入状況</p> <p>惣開小（消毒保管庫） 1,586千円 金栄小（食器洗浄機） 2,452千円 若宮小・中萩小（冷蔵庫） 1,062千円 若宮小（コンベクションオーブン） 1,097千円</p>	
今後の方向性		安全な学校給食の提供を行うためには、適正な維持管理、施設・設備の更新等が必要不可欠なものであり、今後においても継続して維持管理等を行う。	

事務事業等の自己点検評価票

担当課所：図書館

事務事業名		図書館利用促進事業	
予算額 (千円)	決算額 (千円)	不用額 (千円)	予算区分
22,738	22,667	71	経常・ 施策 ・公共・単独
事業の概要	地域の情報拠点・学習支援施設として、市民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、資料・情報の収集及び提供並びに学習機会の提供に努める。		
事務事業の成果、結果、執行状況、課題等	<p>図書館資料の購入及び廃棄により、蔵書の新陳代謝を進め、新鮮で豊かな資料・情報を収集し、市民が必要とする情報提供を行い、利用促進を図った。</p> <p>【新規購入冊数等】 (図書) 11,376冊、(AV資料) 227点 (雑誌) 168種、(新聞) 10紙</p> <p>【定例お話し会及び各種行事等の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館子ども探検隊・手作りおもちゃ教室&夏休み体験一日 図書館員(53人) ・夏の夜のちょっと怖いお話し会(子ども83人、大人79人) ・別子銅山コーナーの開設と別子銅山に関する本の解説講座 「別子銅山を読む」年間3回(延べ参加者172人) ・図書館まつり：ブックリサイクル(約633人) 図書館見学ツアー(10人)「篠笛の調べと民話の語り」(115人) ・「赤ちゃんとパパ・ママおはなしであそぼ」(親子37組) 		
自己評価	B	目標を上回る成果が上がった	
前年度からの改善状況等	児童の学習サポートから郷土を学ぶ行事など生涯学習支援施設として幅広い年齢層の市民の方に有効に図書館を活用してもらうため、サービス内容の充実を図った。またホームページや館内展示で利用啓発や取組報告の掲載をするなど、迅速で必要な情報発信により来館者の増加につながった。		
今後の方向性	多様化・高度化する市民ニーズをふまえた資料提供や地域の実情に合わせた行事内容を精査し、利用しやすい環境や広報活動に取り組み、サービスの質的向上に努める。そのためには更に地域企業、市民団体等との連携促進を図る必要がある。		